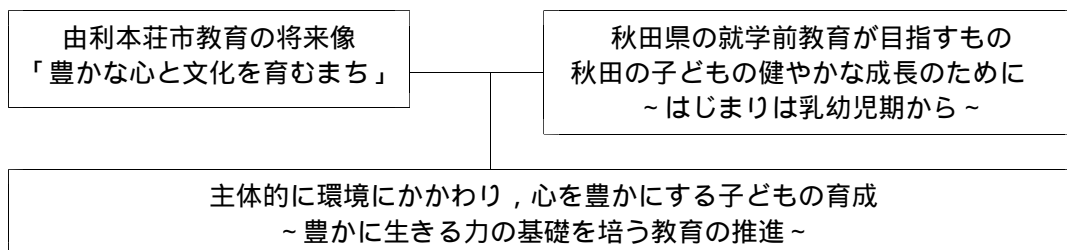


7 幼稚園教育



【主題について】

21世紀をたくましく豊かに生きるための「生きる力」を身に付ける礎は、すでに就学前の幼児期からの生活に始まっている。自然や人などの身近な環境に対して主体的にかかわり、多様な感動体験や表現活動を通して、豊かな心情や感性、意欲、態度を育てていきたい。

【副題について】

いろいろな遊びをする中で、気付きや発想をもとに幼児一人一人がイメージを豊かにし、様々な表現活動を楽しむことが自己表現する力を身に付けることになる。ひいては主体的によりよい自分や生活を考えることができる。

【つきたい力】 ～学びは遊びから～

- ・興味・関心を持って自然とふれあう中で、様々な事象を遊びの中に取り入れていく力
- ・教師や友だちとの活動の中で、愛情や信頼関係を育み、相手に対して素直になれる力
- ・自立した人間として必要な基本的な生活習慣や善悪の判断を身に付ける力

【重点事項】

- (1) 身近な環境への主体的なかわりを促す教育活動の展開
- (2) 豊かな心情や感性が育つような教育活動の展開
- (3) イメージを広げ、創造性豊かに表現する教育活動の展開
- (4) 就学前教育（保育所・幼稚園）と小学校との連携の推進

由利本荘市立西目幼稚園

教育目標	たくましく生きる幼児の育成 ～豊かな人間性を育む幼児教育をめざして～ 〔めざす子ども像〕 <ul style="list-style-type: none"> ・がまん強く、がんばれる子ども ・心豊かで、のびのび活動する子ども ・人の話をよく聞き、自分の考えも話せる子ども ・自然や物を大切にしている子ども
経営の 基本方針	(1) 物ごとへの主体的な取り組みや興味・関心、意欲など、一人一人の幼児の育ちを大切にする。 (2) 友達とのかかわりの中で、喜びや楽しさ、自己を抑制する力、善悪の判断ができるなど道徳性の基礎を身に付け、豊かな心を育てる。 (3) 保護者の方々と心を通わせ合い、信頼関係をもちながら幼児に対しての理解を深める。 (4) 地域の自然や文化、人々との触れ合いを深め、地域への愛着心や感動する心、おもいやる心や態度を大切にする。
研究主題	幼児一人一人の特性に応じ、それぞれの発達課題に即した指導のあり方
研究の重点	健康な生活のリズムを身に付け、自ら生活に必要な活動ができるようになるための環境の構成や教師のかかわり方

